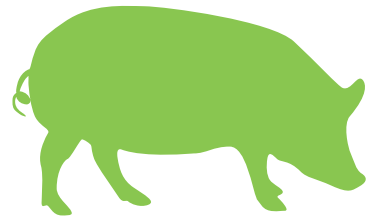


豚 肉

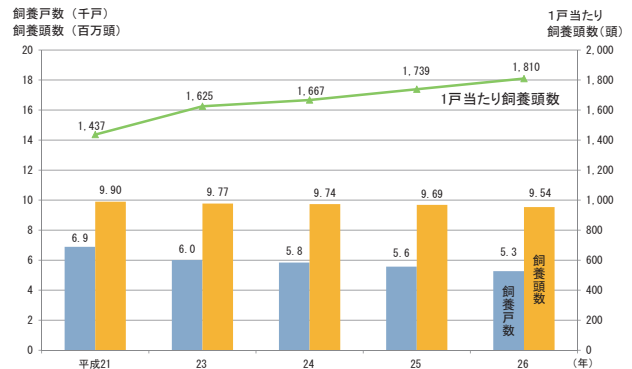


◆飼養動向

26年2月現在の1戸当たり飼養頭数、4.1%増加(世界農林業センサスの調査年はデータなし)

豚の飼養戸数は減少傾向となっており、平成26年は5270戸(前年比5.4%減)と、やや減少した。飼養頭数は、飼養戸数に比べ減少幅は小さいものの、21年以降減少傾向にあり、26年も953万7000頭(同1.5%減)と、わずかに減少した。この結果、1戸当たり飼養頭数は1810頭(同4.1%増)と、やや増加しており、小規模生産者を中心に廃業が進み、大規模化が進行する傾向が続いている(図1)。

図1 豚の飼養戸数および飼養頭数



資料：農林水産省「畜産統計」

注1：各年2月1日現在。

2：平成22年および27年は世界農林業センサスの調査年のためデータなし。

◆生産

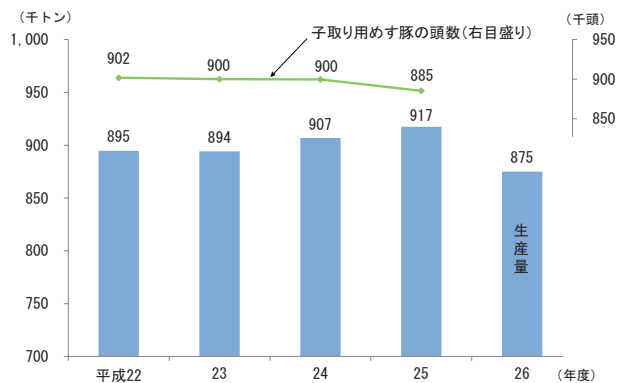
26年度の生産量、4.6%減少

国内生産量は、長年にわたって大きな変動は見られず、安定的に推移している。平成24年度は、猛暑および残暑の影響はあったものの、大規模農家による規模拡大に伴う増頭などにより、90万6800トン(前年度比1.4%増)と、わずかに増加した。

25年度は、夏場は記録的猛暑となったものの、生産者の大規模化が継続したことなどにより、91万7500トン(同1.2%増)と、わずかに増加した。

26年度は、前年度の猛暑の影響、国内における豚流行性下痢(以下「PED」という)発生の影響などにより出荷頭数が減少したことから、87万4900トン(同4.6%減)と、やや減少した(図2)。

図2 豚肉生産量と子取り用めす豚の頭数



資料：農林水産省「畜産統計」、「食肉流通統計」

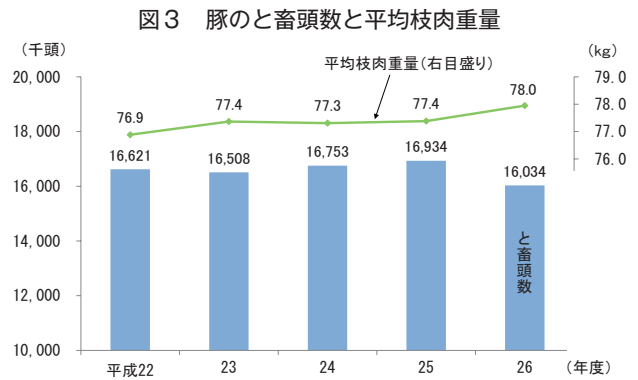
注1：生産量は、部分肉ベース。

2：子取り用めす豚の頭数は、各年度2月1日現在。

平成26年度(27年2月1日)は世界農林業センサスの調査年のためデータなし。

26年度の豚のと畜頭数は、前年度の猛暑の影響、PED発生の影響などにより出荷頭数が減少したことから、年度全体では1603万3800頭（同5.3%減）と、やや減少した。

また、平均枝肉重量は、23～25年度は、ほぼ安定的に推移していたものの、26年度はPED発生に伴う出荷自粛の影響により、肥育期間が長くなったことから、1頭当たりの平均枝肉重量は78.0キログラムと増加した（図3）。



資料：農林水産省「食肉流通統計」
注：平均枝肉重量は全国平均。

◆輸入

26年度の豚肉輸入量、9.7%増加

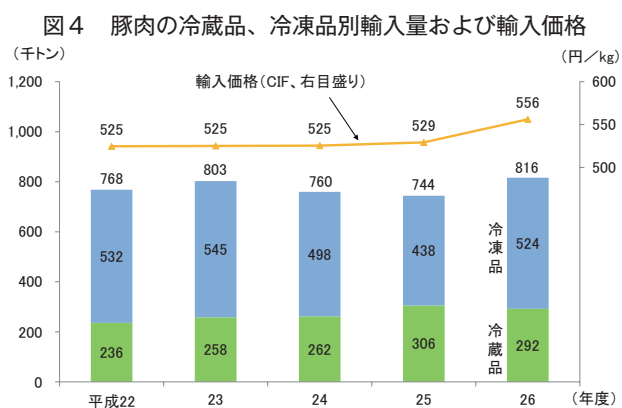
豚肉

豚肉の輸入量は、平成24年度は、為替相場の円安傾向などから冷凍品が減少した結果、75万9700トン（前年度比5.4%減）と、やや減少した。

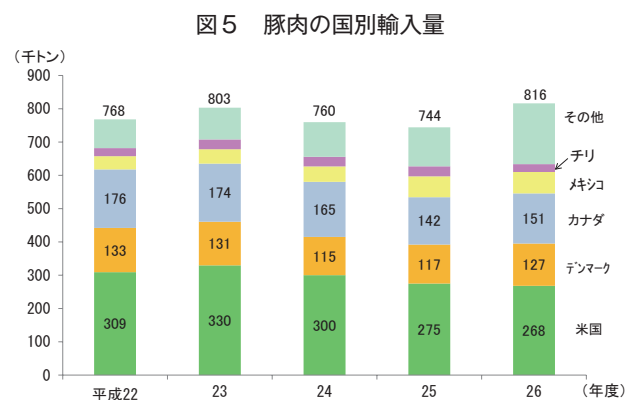
25年度は、冷蔵品が増加したものの、前年度に続き冷凍品が減少した結果、合計で74万4200トン（同2.0%減）となり、2年連続で減少した。

26年度は、現地相場高などから冷蔵品は減少したものの、PED発生による生産量減少見通しから、冷凍品が大幅に増加した結果、合計で81万6200トン（同9.7%増）と、かなりの程度増加した（図4）。

26年度の国別輸入量は、米国産は26万8100トン（同2.6%減）と3年連続で減少した一方で、カナダ産は15万600トン（同6.0%増）と4年ぶりに増加、デンマーク産は12万7200トン（同8.7%増）と2年連続で増加、メキシコ産は6万4200トン（同2.6%増）と5年連続で増加、チリ産は2万3600トン（同21.9%減）となった。また、その他に含まれるスペインなどのEU産は大幅に増加した（図5）。



資料：財務省「貿易統計」
注：部分肉ベース。



資料：財務省「貿易統計」
注：部分肉ベース。

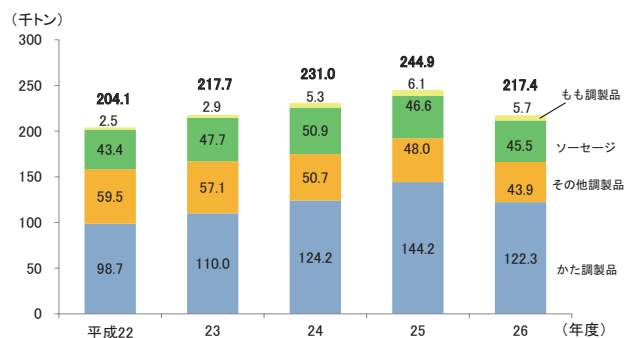
豚肉調製品・ソーセージ

豚肉調製品やソーセージの輸入量は、平成24年度は、冷凍豚肉の輸入量減少による代替需要から、調製品、ソーセージともに増加し、合計で23万1000トン（同6.1%増）と、かなりの程度増加した。

25年度は、ソーセージが減少したものの、前年から続く冷凍豚肉の輸入量減少に伴い、特にかた調製品が大幅に増加した結果、合計では24万4900トン（同6.0%増）と、3年連続の増加となった。

26年度は、調製品の現地相場上昇に伴い、冷凍豚肉に需要がシフトし、調製品の輸入量が減少した結果、合計で21万7400トン（同11.2%減）と、かなり大きく減少した（図6）。

図6 豚肉調製品およびソーセージの輸入量



資料：財務省「貿易統計」

注：もも調製品：1602-41-090（関税率20%）
 かも調製品：1602-42-090（関税率20%）
 その他調製品：1602-49-290（関税率20%）
 ソーセージ：1601-00-000（関税率10%）

◆消費

26年度の推定出回り量は前年度並み、家計消費は2.3%減少

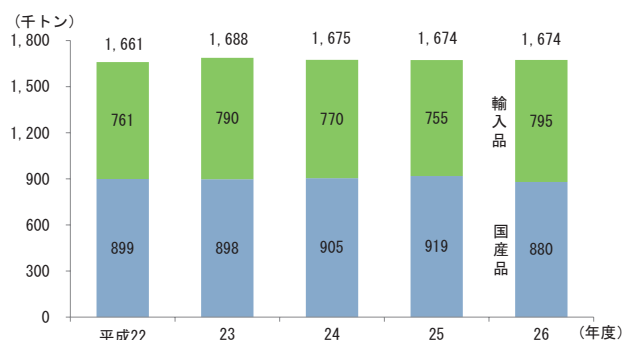
推定出回り量

豚肉の推定出回り量は、平成24年度は、国産品は90万4500トン（前年度比0.7%増）と、わずかに増加した一方、輸入品は77万200トン（同2.5%減）と、わずかに減少し、全体でも、167万4700トン（同0.8%減）と、わずかに減少した。

25年度も前年度と同様の傾向となり、国産品は91万8700トン（同1.6%増）と、わずかに増加したが、輸入品が75万5000トン（同2.0%減）と、わずかに減少し、全体では167万3700トン（同0.1%減）と、前年度並みとなった。

26年度は、国産品はPE D発生の影響による生産量減少を受け、87万9700トン（同4.3%減）と、やや減少したが、輸入品は輸入量の増加に伴い79万4700トン（同5.3%増）と、やや増加し、全体では167万4400トンと、前年度並みとなった（図7）。

図7 豚肉の推定出回り量



資料：農林水産省「食肉流通統計」、財務省「貿易統計」より
 農畜産業振興機構で推計

注：部分肉ベース。

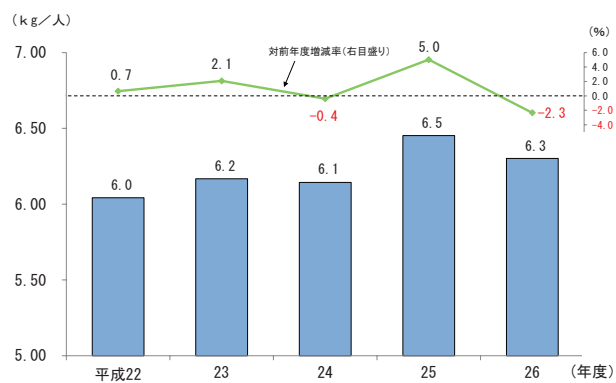
家計消費

年間1人当たりの豚肉の家計消費量は、平成24年度は6.1キログラム（同0.4%減）と、わずかに減少した。

25年度は、価格が上昇した牛肉からの需要シフトに伴い、前年度をやや上回る、同6.5キログラム（同5.0%増）となった。

26年度は、相場高による小売価格上昇の影響により、鶏肉への需要シフトがあったとみられ、前年度をわずかに下回る、同6.3キログラム（同2.3%減）となった（図8）。

図8 豚肉の家計消費量（年間1人当たり）



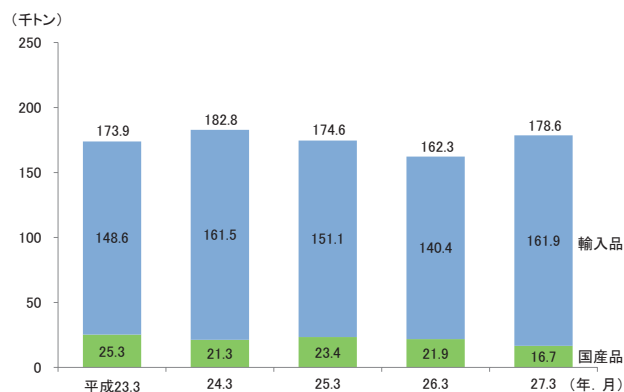
資料：総務省「家計調査報告」

◆在庫

26年度の推定期末在庫量、10.0%増加

豚肉の推定期末在庫量は、平成24年度は、国産品が生産量の増加により積み増される一方、輸入品は、輸入量の減少に伴い取り崩しが進み、17万4600トン（前年度比4.5%減）と、やや減少した。25年度は、国産品は前年度を下回り、輸入品も冷凍品輸入量の減少に伴い、年末まで取り崩しが進んだことから、16万2300トン（同7.0%減）と、かなりの程度減少した。26年度は、PED発生により生産量が減少した国産品は、前年度を下回ったものの、輸入品は冷凍品輸入量の増加に伴い積み増したことから、17万8600トン（同10.0%増）と、かなりの程度増加した（図9）。

図9 豚肉の推定期末在庫量



資料：農畜産業振興機構調べ

注：部分肉ベース

◆枝肉卸売価格

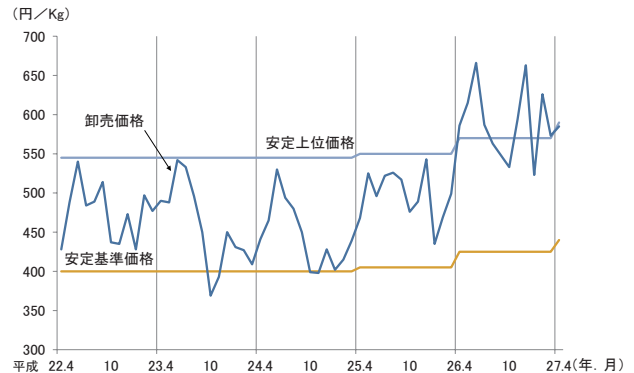
26年度の枝肉卸売価格、前年度を大幅に上回って推移

豚枝肉の卸売価格（東京・省令規格）は、平成24年度は、輸入量の減少に伴う代替需要があったものの、出荷頭数の増加などにより、前年度をわずかに下回った。

25年度は、生産量は増加したものの輸入量が減少した結果、供給量は減少となったが、家計消費などにおける需要の高まりから、前年度をかなり大きく上回った。

26年度は、消費増税の影響に加え、前年度の猛暑の影響、PED発生の影響などにより出荷頭数が減少したことから、前年度を大幅に上回って推移した（図10）。

図10 豚枝肉の卸売価格（東京・省令）



資料：農林水産省「食肉流通統計」

注1：消費税を含む。税率は平成26年4月1日から8%、それ以前は5%。

2：省令は、極上と上の加重平均。

◆小売価格

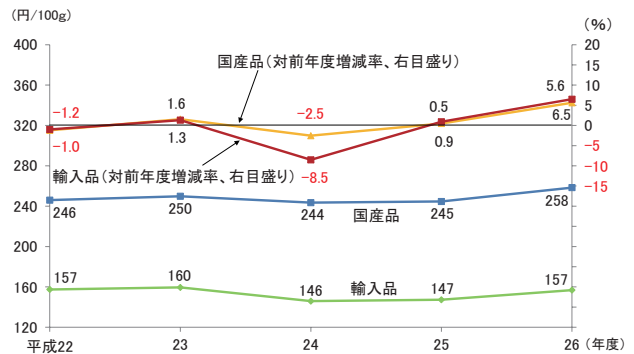
26年度の小売価格、国産品、輸入品ともに値上がり

豚肉の小売価格（ロース）は、平成24年度は、生産量が増加し枝肉卸売価格が前年を下回った国産品は100グラム当たり244円（前年度比2.5%安）、冷蔵品が増加傾向で推移していた輸入品は同146円（同8.5%安）となり、いずれも前年度を下回った。

25年度は、国産品は、生産量は増加したものの、牛肉の相場高による代替需要などから同245円（同0.5%高）と、わずかに上昇した。また、輸入品も、冷蔵品輸入量は増加したものの、輸出国の現地相場上昇などにより、同147円（同0.9%高）と、わずかに上昇した。

26年度は、消費増税の影響に加え、国産品は生産量が減少したことから、同258円（同5.6%高）とやや上昇した。また、輸入品も為替の円安傾向や現地相場高が続いたことから、同157円（同6.5%高）とかなりの程度前年度を上回った（図11）。

図11 豚肉の小売価格（ロース）



資料：農畜産業振興機構調べ

注：消費税を含む。税率は平成26年4月1日から8%、それ以前は5%。